

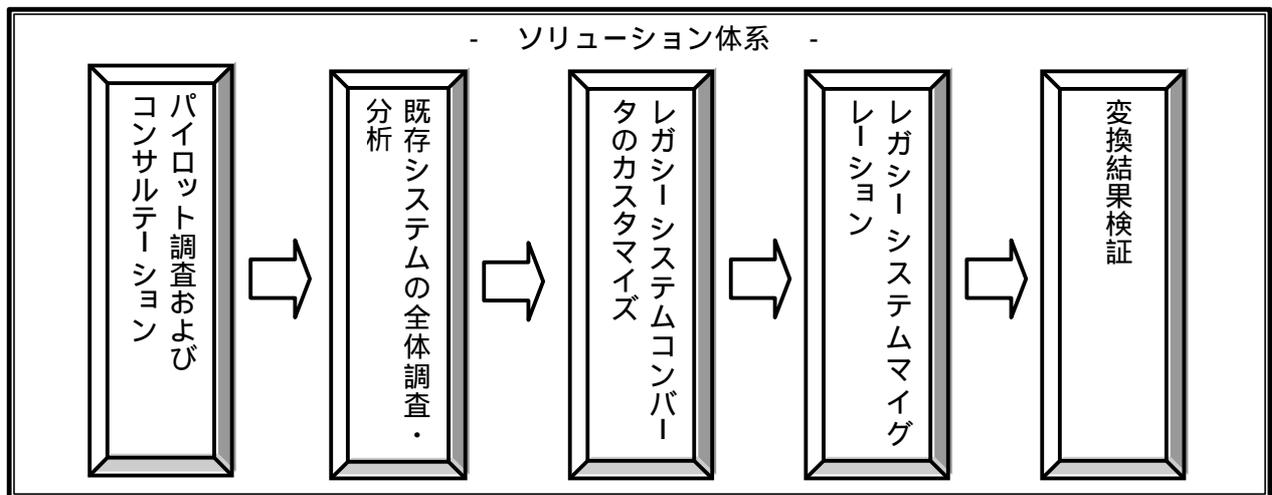
レガシーマイグレーションサービスを強化・拡充 ベンダ固有DB・言語からの移行を強力に支援

日立ビジネスソリューション株式会社(東京都品川区、代表取締役社長 鴨川 和正、資本金 35億6千万円)は、近年、市場が活性化しているレガシーマイグレーションサービス分野に新たなソリューションメニューを開発し取り組み強化することを発表します。

当社ではこれまで汎用機上のCOBOL資産をPC-COBOLへ移行するソリューションを展開してまいりました。汎用機でのバッチシステムにおいては言語変換のみならずJCL(JOB制御言語)をオープン環境ではシェアNO1の日立製オープンミドル製品『P1』に移行し、サーバシステムを稼動させております。

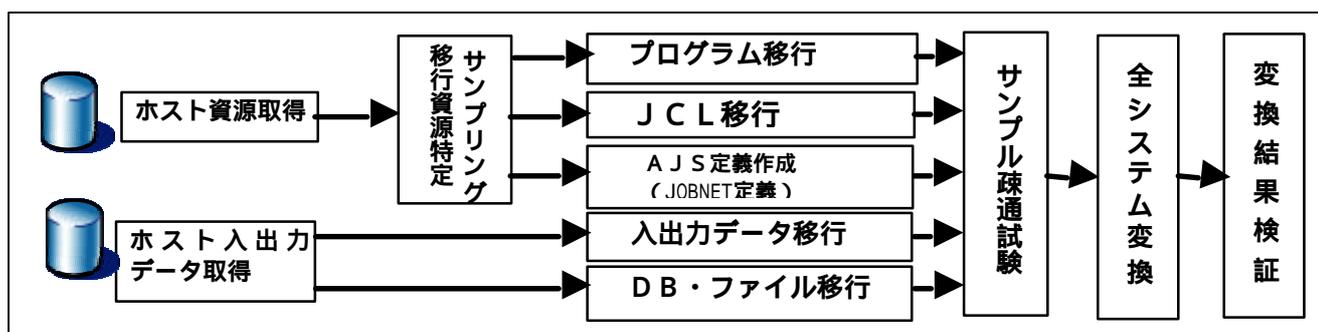
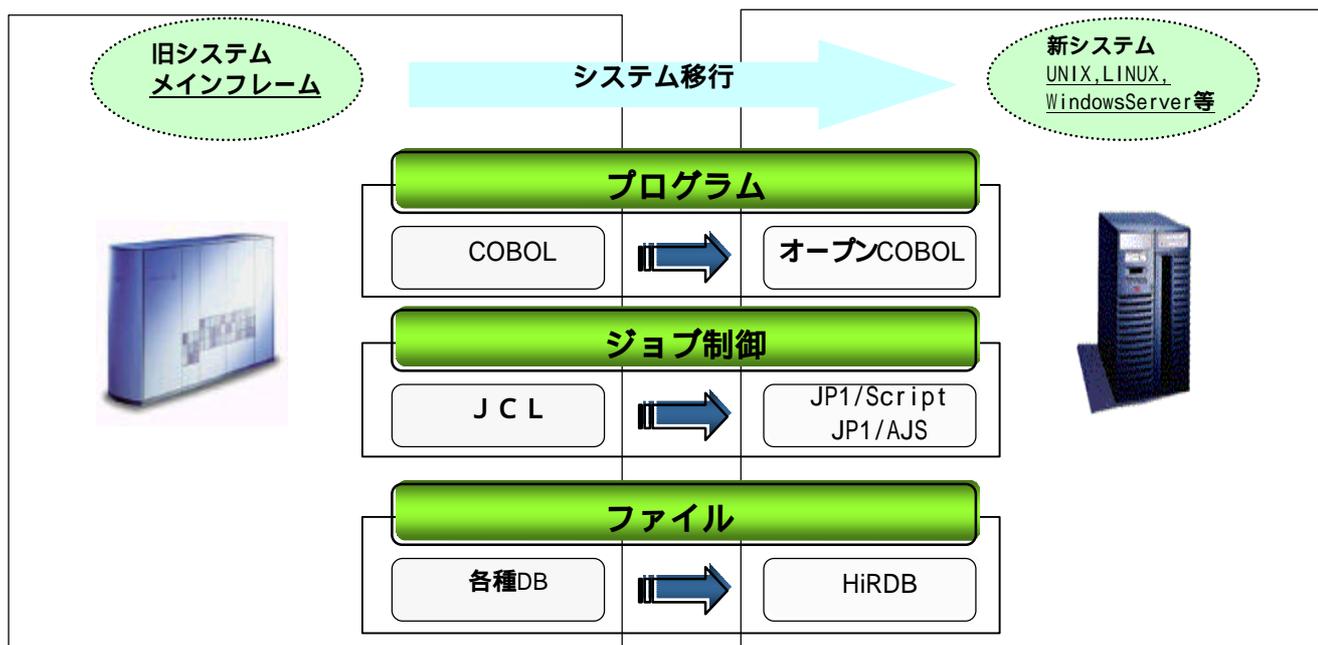
当社レガシーマイグレーションサービスの特長は、永年、日立製作所の基幹ミドルウェア開発に参画して培った技術と豊富な技術者が汎用機上のシステム機能とオープン環境でのシステム機能を分析し変換効率の高いツール群を用意していることにあります。

このツール群の利用により顧客においてはシステム移行に伴うリスクを軽減することが出来ます。今回、発表するレガシーマイグレーションサービス体系は次のとおりです。



- (1)パイロット調査およびコンサルテーション
お客様のレガシー資源のサンプル分析を実施し、新システムへの移行方針や移行方法についてコンサルテーションします。
- (2)既存システムの全体調査・分析
お客様のレガシー資源の全体をお借りして、必要資源と不要資源の切り分け等の分析および設計基準・各種ルールの分析を行います。
- (3)レガシーシステムコンバータのカスタマイズ
上記分析結果を元にツールでの変換率を高める為に、コンバータへお客様毎のカスタマイズを行います。
- (4)レガシーシステムマイグレーション
各社COBOL、特殊言語及び特殊DB構造からオープンCOBOL、標準仕様リレーショナルDBへの移行及びJCLデータの移行を実施します。
- (5)変換結果検証
レガシーシステムマイグレーションの結果をお客様と共に業務検証いたします。

サービスの流れ



日立ビジネスレガシーマイグレーションサービス名と内容。

- (1) COBOLマイグレーション(既存サービス)
汎用機COBOL、JCL、COPY文を相互に波及分析し有効な資源だけを新システムに移行する。
- (2) データベースマイグレーション(新サービス)
PDM をXDM/RDへ移行、PDM をHiRDBへ移行
RDB1をHiRDBへ移行、AdabasをHiRDBへ移行
- (3) Natural/Adabasマイグレーション(新サービス)
NaturalをCOBOLへ移行、AdabasをHiRDBに移行
KMAPをXMAPへ移行

2. 売上目標

サービス提供時期 2004年6月

初年度売上げ目標 10億円

略称説明： 1 レガシー(旧式)システムと呼ばれる汎用機から構成される基幹業務システムを安価なUNIXサーバーやPCサーバーに置き換え、システムを再構築する。既存のシステム資産を再利用するのが特長。

PDM (日立製作所製ネットワーク型データベース)

XDM/RD(日立製作所製メインフレームリレーショナルデータベース管理システム)

H i R D B (日立製作所製オープン系データベース)
N a t u r a l (BeaconIT社製のアプリケーション開発言語)
A d a b a s (BeaconIT社製のデータベース管理システム)
K M A P (BeaconIT社製のN a t u r a lのMAPシステム)
X M A P (日立製作所製画面・帳票サポートシステム)

3 . 問 合 せ 先

日立ビジネスソリューション株式会社

システム営業部

担当 竹本、稲垣、磯部 直通TEL : 03-5780-3457 FAX : 03-5780-3489

Mail b-sol@www.b-sol.jp URL <http://www.b-sol.jp>

【商標について】

すべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

- 以 上 -

日立ビジネスソリューション株式会社 システム営業部

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番6号
(日立ソフトタワーB)

電 話 (03) 5780-3111 (代表)

F A X (03) 5780-3489

U R L <http://hitachi-business.com>